証券コード　　6768
東京証券取引所　プライム上場

株式会社タムラ製作所

2027年3月期 第2四半期（中間期）決算概要

2026年11月13日

© TAMURA CORPORATION All Rights Reserved

目次

1. 本日のハイライト
2. 2027年3月期 中間期決算概要
3. 2027年3月期 通期業績予想
4. 第14次中期経営計画
　事業戦略上の取組み・進捗

【参考資料】



代表取締役社長兼COO
中村 充孝

© TAMURA CORPORATION All Rights Reserved

本日のハイライト

1 2027年3月期 第2四半期（中間期）決算の総括

AIデータセンター関連や産業機器関連の需要拡大。
売上高、営業利益は中間期として**過去最高**

売上高	**711億3千7百万円**
営業利益	**35億6千6百万円**
四半期純利益	**46億1百万円**

- 電子部品関連事業は大型トランス・リアクタが成長を牽引
- 電子化学実装関連事業は金属価格上昇に伴う販売価格改定が進展し、収益性改善

2 2027年3月期 通期予想

構造改革を完遂するとともに成長投資を推進。
収益性を改善し、通期業績も**過去最高を更新**

売上高	**1,480億円**
営業利益	**75億円**
当期純利益	**65億円**

- AIデータセンター関連需要は引き続き堅調、産業機器関連市場も回復基調が継続で上方修正

3 事業戦略上の取組み・進捗

収益性向上と持続的成長に向けた事業ポートフォリオの再構築により、中期経営計画目標達成へ

営業利益率	**7%以上**
ROE	**8%以上**

- 構造改革の完遂により、収益体質が強化
- EMG社の技術・顧客基盤の獲得で、高付加価値事業領域へのアクセス拡大と当社生産基盤活用によるシナジー創出が可能に

© TAMURA CORPORATION All Rights Reserved

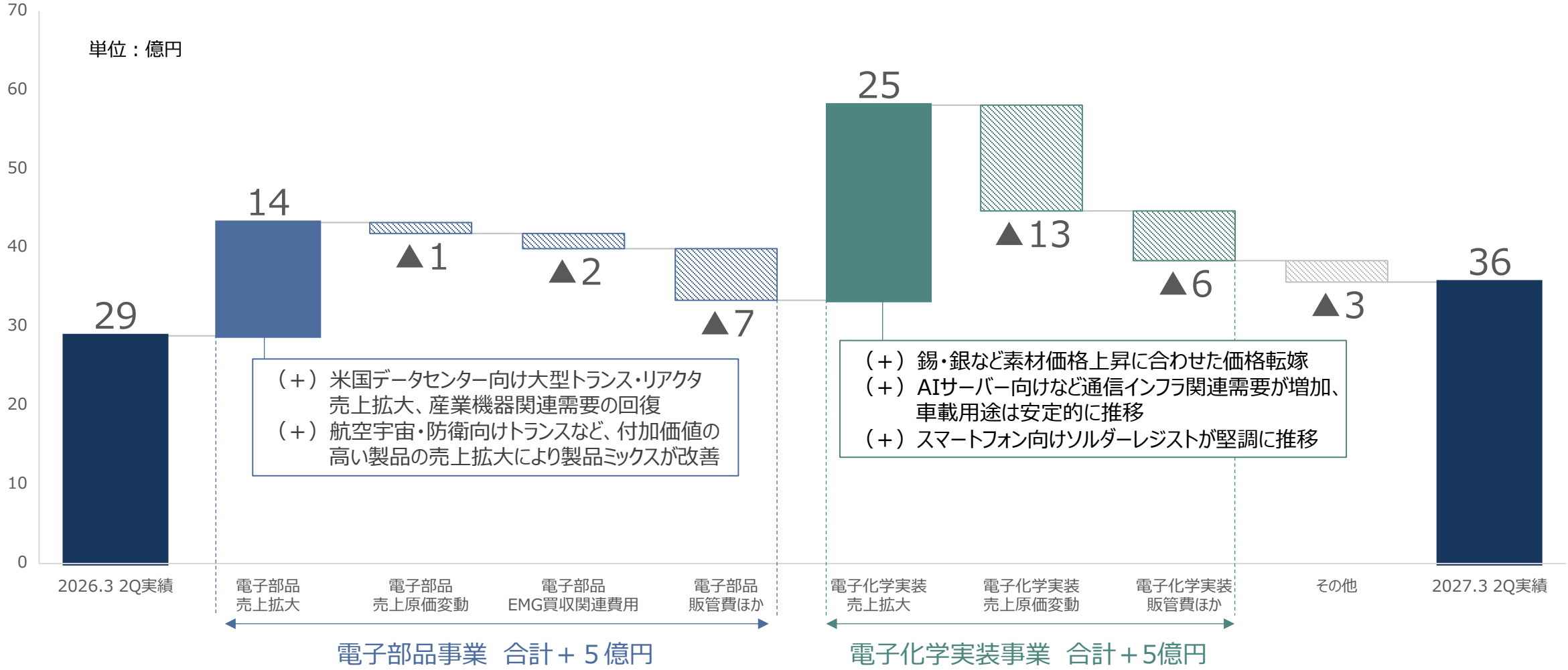
2027年3月期 第2四半期（累計） 決算サマリー

- ◆ AIデータセンター向け製品の堅調な需要、産業機器関連需要の回復継続。電子化学実装の収益性改善
- ◆ 中間期として過去最高の売上高・営業利益を更新

(百万円)	2026.3 2Q実績	2027.3 2Q実績	前年同期比 増減	前年同期比 増減率	ポイント
売上高	58,189	**71,137**	+12,948	+22.3%	・AIサーバー・データセンター関連の需要が引き続き拡大 ・車載関連が安定的に推移 ・産業機器関連の需要が拡大
営業利益	2,884	**3,566**	+681	+23.6%	・原材料価格が上昇、販管費やEMG買収関連費用等が増加 ・しかしながら、売上拡大効果が上回り、中間期として過去最高を更新
営業利益率	5.0%	**5.0%**	+0.0pt	-	
EMG買収関連費用除く営業利益率	―	**5.3%**	+0.3pt	-	
中間純利益	319	**4,601**	+4,281	14倍	資産売却による特別利益を計上 ・中国連結子会社の持分譲渡益 ・投資有価証券売却益

© TAMURA CORPORATION All Rights Reserved

2027年3月期 第2四半期（累計）実績　営業利益増減分析



+7億円、+23.6%

AIサーバー・データセンター関連が牽引し、中間期として過去最高

© TAMURA CORPORATION All Rights Reserved

2027年3月期 第2四半期（累計） 事業部門別 実績

（億円）		売上高	増減額 増減率	主な増減要因
電子部品関連	2026.3期 2Q	392	+63	（＋）米国データセンター向けを中心に、大型トランス・リアクタの売上が拡大
	2027.3期 2Q	455	+15.9%	（＋）産業機械向けトランス・リアクタ堅調。エアコン用リアクタは安定的に推移
電子化学実装関連	2026.3期 2Q	181	+72	（＋）AIサーバーや通信インフラ関連の需要が増加。車載用途は安定的に推移 （＋）スマートフォン向けソルダーレジストが堅調に推移
	2027.3期 2Q	253	+39.5%	＊ 錫・銀など、金属価格高騰の売価反映影響あり
情報機器関連	2026.3期 2Q	9	▲ 5	（－）放送業界の厳しい設備投資環境が継続
	2027.3期 2Q	4	▲ 53.9%	*2026年10月1日に事業譲渡を完了

（億円）		営業利益	増減額 増減率	主な増減要因
電子部品関連	2026.3期 2Q	18	+5	（+）大型トランス・リアクタや、航空宇宙・防衛向けトランスなど付加価値の高い製品の売上拡大により製品ミックスが改善
	2027.3期 2Q	23	+24.9%	
電子化学実装関連	2026.3期 2Q	19	+5	（+）錫・銀など素材価格上昇に合わせた価格改定の進展
	2027.3期 2Q	24	+27.1%	
情報機器関連	2026.3期 2Q	▲ 4	▲ 0	（－）放送業界の厳しい設備投資環境が継続
	2027.3期 2Q	▲ 4	-	*2026年10月1日に事業譲渡を完了

注：連結消去及び本社費用（主に全社未来開発費）により、営業利益の全社値と事業部門合計は一致しません。

© TAMURA CORPORATION All Rights Reserved

2027年3月期第2四半期（累計） 地域別実績

【増減要因の対象事業部】
部品 電子部品事業
化学 電子化学実装事業
部・化 電子部品事業・電子化学実装事業の両方

（億円）		売上高	増減額 増減率	主な増減要因
日本	2026.3期 2Q	165	+25	部品 （＋）産業機械向けトランス・リアクタの需要回復
	2027.3期 2Q	190	+15.1%	部品 （＋）家電・住宅向け電子部品の緩やかな回復
中国	2026.3期 2Q	135	+14	部品 （＋）家電・住宅向け電子部品の緩やかな回復
	2027.3期 2Q	149	+10.1%	
その他アジア	2026.3期 2Q	109	+35	部・化 （＋）情報通信関連、空調向けの好調
	2027.3期 2Q	144	+32.7%	
欧米	2026.3期 2Q	173	+55	部品 （＋）AIデータセンター向け需要の拡大
	2027.3期 2Q	229	+32.0%	

（億円）		営業利益	増減額 増減率	主な増減要因
日本	2026.3期 2Q	1	▲ 5	部・化 （－）生産再編に伴う費用、減価償却費の増加
	2027.3期 2Q	▲ 4	赤転	
中国	2026.3期 2Q	11	▲ 3	化学 （－）構造改革・生産再編費用
	2027.3期 2Q	8	▲ 25.4%	
その他アジア	2026.3期 2Q	8	+11	化学 （＋）AIサーバーや通信インフラ関連需要の拡大。スマホ用も堅調に推移
	2027.3期 2Q	18	+136.8%	化学 （＋）錫・銀など素材価格上昇に合わせた価格改定の進展
欧米	2026.3期 2Q	10	+4	部品 （+） AIデータセンター向け需要の拡大
	2027.3期 2Q	13	+41.3%	

*日本には連結消去及び本社費用等を含めて表示しています。

© TAMURA CORPORATION All Rights Reserved

3. 2027年3月期 通期業績予想

© TAMURA CORPORATION All Rights Reserved

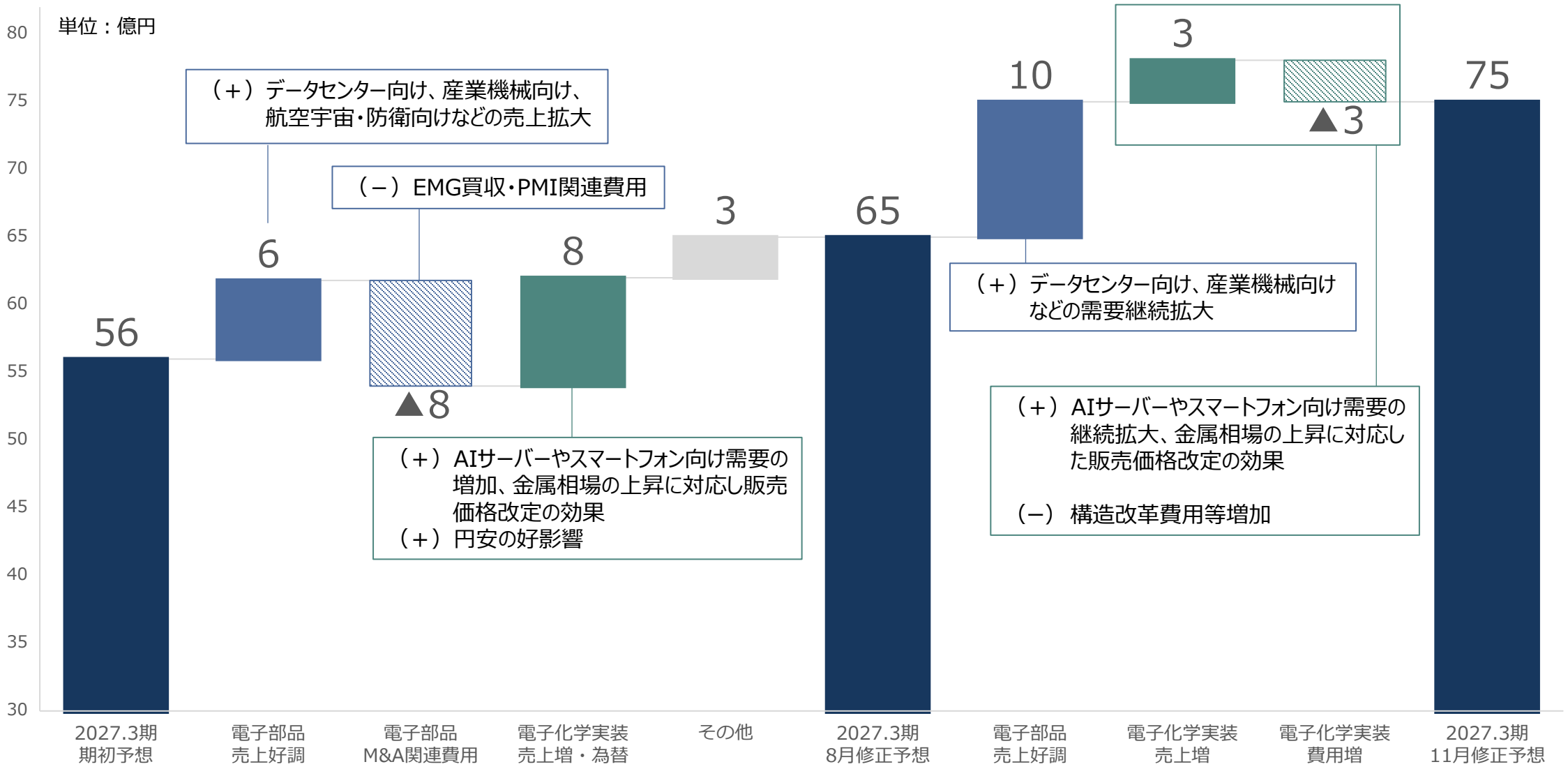
2027年3月期 通期業績予想

前年度比では、電子部品、電子化学実装共に、良好な市場環境を背景に、**売上高・営業利益の大幅増加**を見込む
前回8月時点の見込みに対しても、電子部品の好調を背景に、**売上高・営業利益・当期純利益共に過去最高、ROE9.9%**を達成見込み

(百万円)	2026.3 実績	2027.3 11月修正予想	前年同期比 増減	前年同期比 増減率	2027.3 前回修正予想	2027.3 前回修正予想との差異
売上高	123,559	**148,000**	+24,441	+19.8%	145,000	+3,000
営業利益	5,287	**7,500**	+2,213	41.8%	6,500	+1,000
営業利益率	4.3%	**5.1%**	+0.8pt	-	4.5%	+0.6pt
EMG買収・PMI関連費用除く営業利益率	-	**5.6%**	-	-	5.0%	+0.6pt
当期純損益	▲ 1,385	**6,500**	+7,885	黒字回復	5,200	+1,300
ROE	▲ 2.2%	9.9%	+12.1pt	-	-	-
ROIC	3.6%	5.7%	+2.1pt	-	-	-
1株当たり配当	13円	16円	+3円	+23.1%	-	-

© TAMURA CORPORATION All Rights Reserved

2027年3月期 通期業績予想 期初予想からの営業利益増減分析



© TAMURA CORPORATION All Rights Reserved

2027年3月期 事業部門別売上・営業利益予想

（億円）		売上高	増減額 増減率	主な増減要因
電子部品関連	2026.3期	815	+115	（+）AIデータセンター市場での競争力向上・生産能力増強
	2027.3期	930	+14.0%	（+）産業機械向けトランス・リアクタの需要回復を見込む
電子化学実装関連	2026.3期	399	+147	（+）AIサーバーや通信インフラ関連の需要拡大を見込む、モバイル関連の需要増も想定
	2027.3期	546	+36.8%	（+）錫・銀など素材価格上昇に合わせた価格改定の進展
情報機器関連	2026.3期	21	▲ 17	（−）放送業界の厳しい設備投資環境が継続
	2027.3期	4	▲ 81.3%	*2026年10月1日に事業譲渡を完了

（億円）		営業利益	増減額 増減率	主な増減要因
電子部品関連	2026.3期	33	+15	（+）中国構造改革・生産再編と、産機・航空宇宙・防衛向け増加などミックス改善
	2027.3期	48	45.3%	（+）AIデータセンター市場での競争力向上・生産効率改善
電子化学実装関連	2026.3期	33	+17	（+）AIサーバー関連の他、モバイル関連の採用増加およびシェア拡大を見込む
	2027.3期	50	+49.9%	（+）実装装置の新モデル市場投入により利益拡大を図る
情報機器関連	2026.3期	▲ 6	+1	（−）放送業界の厳しい設備投資環境が継続
	2027.3期	▲ 5	赤縮	*2026年10月1日に事業譲渡を完了

＊ 連結消去（主に全社未来開発費）により、営業利益の全社値と事業部門合計は一致しません。

© TAMURA CORPORATION All Rights Reserved

2027年3月期 地域別売上・営業利益予想

【増減要因の対象事業部】
部品 電子部品事業
化学 電子化学実装事業
部・化 電子部品事業・電子化学実装事業の両方

（億円）		売上高	増減額 増減率	主な増減要因
日本	2026.3期	342	+33	部品 （＋）産業機械向けトランス・リアクタの需要回復
	2027.3期	375	+9.7%	部品 （＋）家電・住宅市場向け電子部品が安定的に推移
中国	2026.3期	297	+45	部品 （＋）家電・住宅市場向け電子部品が安定的に推移
	2027.3期	342	+15.3%	
その他アジア	2026.3期	240	+71	部品 （＋）生産再編に伴う生産機能強化
	2027.3期	311	+29.7%	化学 （＋）AIサーバーや通信インフラ関連需要の増加
欧米	2026.3期	357	+95	部品 （＋）AIデータセンター市場での競争力向上・生産能力増強
	2027.3期	452	+26.5%	

（億円）		営業利益	増減額 増減率	主な増減要因
日本	2026.3期	▲ 6	▲ 4	部・化 （－）生産再編に伴う費用、減価償却費の増加
	2027.3期	▲ 10	赤拡	
中国	2026.3期	21	+4	化学 （－）構造改革・生産再編費用
	2027.3期	25	+21.8%	
その他アジア	2026.3期	21	+13	化学 （＋）AIサーバーや通信インフラ関連需要の増加
	2027.3期	34	+59.9%	化学 （＋）錫・銀など素材価格上昇に合わせた価格改定の進展
欧米	2026.3期	17	+9	部品 （＋）AIデータセンター市場での競争力向上・生産効率改善
	2027.3期	26	+53.0%	

*日本には連結消去及び本社費用等を含めて表示しています。

© TAMURA CORPORATION All Rights Reserved

4. 第14次中期経営計画　事業戦略上の取組み・進捗

© TAMURA CORPORATION All Rights Reserved

EMG Power Electric S.r.l.の株式取得完了



（左から）タムラ 代表取締役社長 中村 充孝、EMG社共同創業者 兼 MD Filippo Galastri 氏、
EMG社共同創業者 Daniele Michelini 氏、タムラ SVP 兼 EMG CEO Marco Puliti 氏

取得概要	
株式取得比率：	80%
取得価額：	約93億円
株式取得日：	2026年10月29日

EMG社概要	
所在地：	イタリア
事業内容：	大型トランス、リアクタの開発・設計・製造
設立年月日：	2014年1月15日

EMG社の直近の業績（FY2025）	
売上高	27,882 千EUR
営業利益	6,997 千EUR

ご参考： 2026年7月21日付「EMG Power Electric S.r.l.の株式取得(連結子会社化)に関するお知らせ」
2026年10月30日付「EMG Power Electric S.r.l.の株式取得完了(連結子会社化)のお知らせ」

© TAMURA CORPORATION All Rights Reserved

EMG社の技術獲得による対応領域拡大

- 既存LV領域を基盤にMV・大容量領域を追加。中電圧領域の、技術基盤を拡充
- さらに、次世代製品の開発を加速する

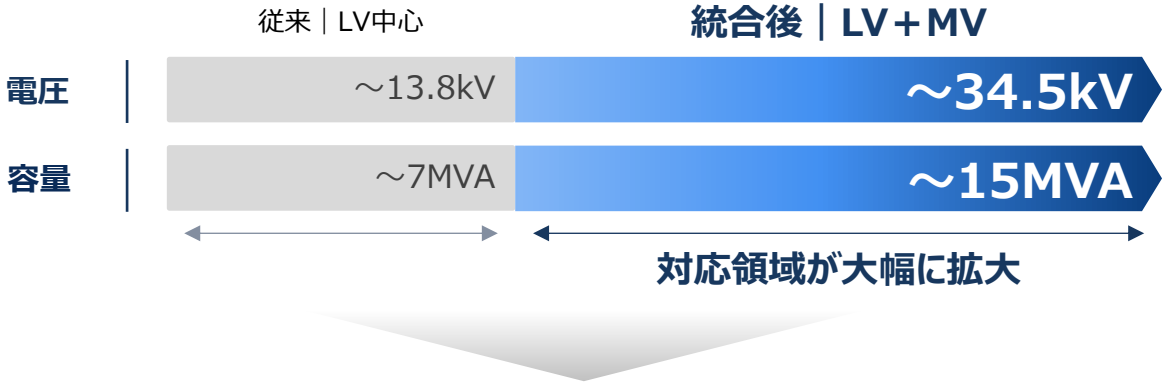


モールドトランス NEW

エポキシ樹脂で絶縁したボイドレス巻線構造高信頼性・低メンテナンス性を実現

VPIトランス・大容量リアクタ EXPANDED

従来から保有する技術をベースに、より高出力・大容量領域へ拡大



産学連携とEMG社技術により、技術変化への対応と次世代製品の開発を加速

800V DC対応 FUTURE

次世代製品（SST*等）開発強化 FUTURE

*SST=Solid-state Transformer

© TAMURA CORPORATION All Rights Reserved

EMG統合で市場機会を拡大

アクセス可能市場の拡大 ｜ EMG社の顧客基盤を活かした相互拡販で、高利益率な注力製品*の新市場展開を加速

従来｜特定市場に集中

データセンター　再エネ　産業機械

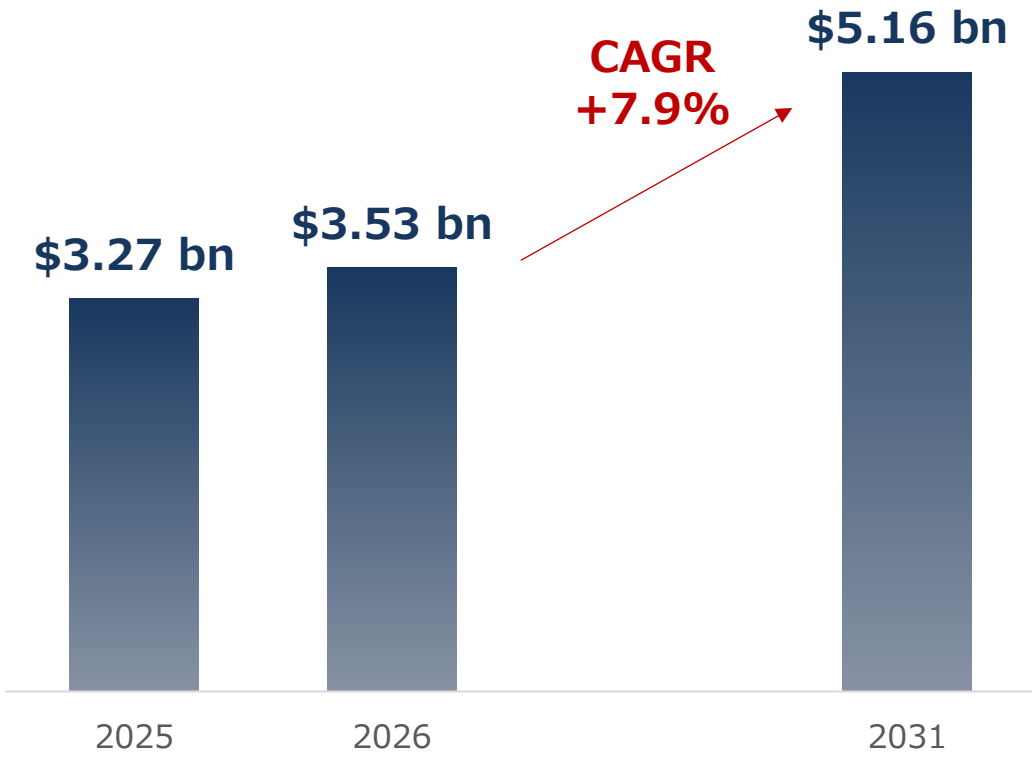
EMG社の実績領域

鉄道　船舶　BESS　変電/配電　産業用電源

*注力製品：次世代パワーエレクトロニクス関連製品
（大型トランス・リアクタ、高周波トランス・リアクタ、高耐圧ゲートドライバ、大容量電流センサ、パワエレ関連化学材料、先端半導体材料、次世代パワー半導体用磁性受動部品）

北米における乾式変圧器・リアクトル不足へ対応
北米におけるアクセス可能市場は推定**35億米ドル**（2026年時点）

北米市場における変圧器*の市場規模



出典：Mordor Intelligence公表値を基に当社推計
*変圧器は空冷変圧器のみ

© TAMURA CORPORATION All Rights Reserved

高付加価値市場での競争力強化

注力市場

クリーンエネルギー関連市場

電力インフラ	風力・太陽光・水素 送配電・蓄電
ヘビーインダストリー	産業機械 データセンター
次世代通信	端末・IoT機器
モビリティ	EV・V2H 電鉄

脱炭素社会の実現に向け拡大

注力製品

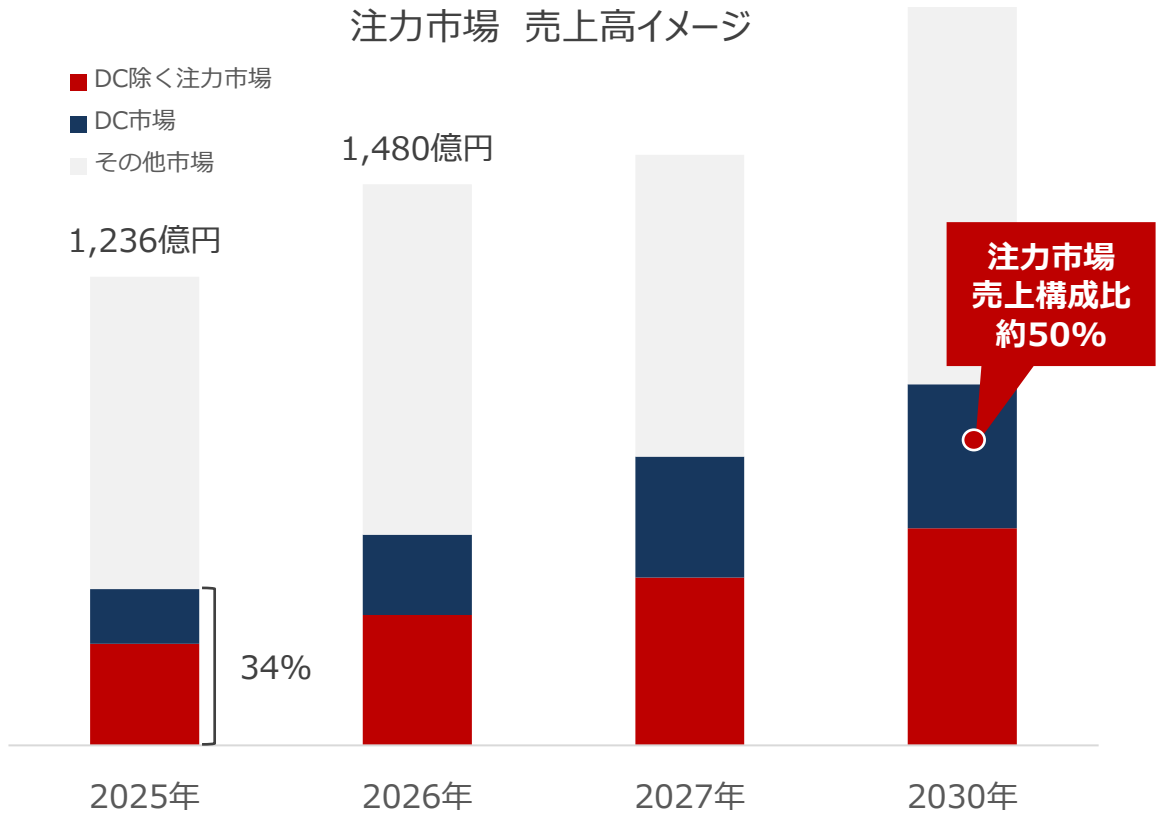
パワーエレクトロニクス関連製品

- 大型トランス・リアクタ
- 高周波トランス・リアクタ
- 高耐圧ゲートドライバ
- 大容量電流センサ
- パワエレ関連化学材料
- 先端半導体材料

次世代パワー半導体用磁性受動部品

当社売上高の推移見込み

DC市場での成長機会に加え、
DC以外の注力市場での事業拡大も加速

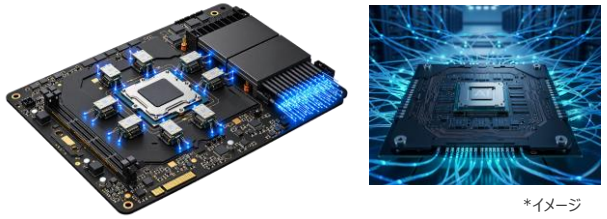


多様な市場展開で脱炭素社会の実現に貢献

© TAMURA CORPORATION All Rights Reserved

DC市場の技術変化と事業機会拡大

◆ 中長期的なDC市場の需要は継続。技術変化に対応し、更なる成長機会に

	既存・拡大中 データセンター市場における安定基盤	事業化・拡大中 市場変化に合わせて展開	研究開発（2030～） 次世代インフラの実現に向けて
電子部品 電力を安定的に変換・制御し社会インフラを支える	**LV / PDU・UPS用 大型トランス・リアクタ**  • 大型トランス・リアクタ • カスタム設計・短納期対応	**MV / モールド・VPI** EMG社の技術を取り込み 受電～配電の上流領域へ  • 中電圧モールドトランス • VPIトランス	**グローバル供給強化** メキシコ生産拠点の増強 （27年度に25年度比約2倍）  • 北米市場への安定供給 • 中電圧製品の生産対応 • 需要拡大への対応強化	**800V DC対応**  *イメージ • MV製品・電流センサ・ゲートドライバモジュール • 半導体企業との共同開発	**SST** **Solid-State Transformer**  *イメージ • 高周波・大容量トランス技術 • 産学連携による研究開発 • EMG社技術による開発加速
電子化学実装 高信頼な接合・絶縁でAIの演算基盤を整える	**電源・光通信・メモリー関連材料** AIサーバー向けの材料需要が拡大  *イメージ • 電源・スイッチボード向け接合・絶縁材料 • 光通信モジュール向け接合・絶縁材料 • メモリー・SSD向け接合・絶縁材料	**PLP・省電力対応の実装装置** 半導体の大型化・高密度化による需要が拡大  *イメージ • 大型基板・省電力対応の実装装置 • 接合材料・絶縁材料の統合提案による技術革新	**CPO・光電融合周辺機器** 光と電気の融合による次世代実装へ  *イメージ • CPO向け次世代材料開発 • 光電変換・高信頼接合・絶縁材料開発 • 次世代パッケージ技術の探索		

© TAMURA CORPORATION All Rights Reserved

変革に向けた事業戦略上の取組み・進捗

重点戦略	FY2025 – FY2026上期 構造改革期間	FY2026下期 – FY2027 効果実現・成長加速期間
事業 ポートフォリオ 再編	**M&Aによる選択と集中** • 光波一部事業 譲渡 • 情報機器事業 譲渡 • EMG社 株式80%取得	**高付加価値事業領域に 経営資源を集中** • EMG社　連結化 • EMG社技術をメキシコ工場に移転 ⇒生産能力も2倍へ増強 • 情報機器事業　非連結化 • 継続的な低採算製品 縮小・撤退
構造改革・ 生産体制再編	**事業拠点・人員配置見直し** • 中国生産拠点集約 3割削減 ⇒車載生産の国内(若柳）移管 • 国内人員転身支援　固定費圧縮	**構造改革効果実現と 生産体制の再構築** • 固定費削減効果実現 • 電子化学狭山事業所新棟での はんだ粉生産強化

**中期計画
目標達成へ**

営業利益率

≧7%

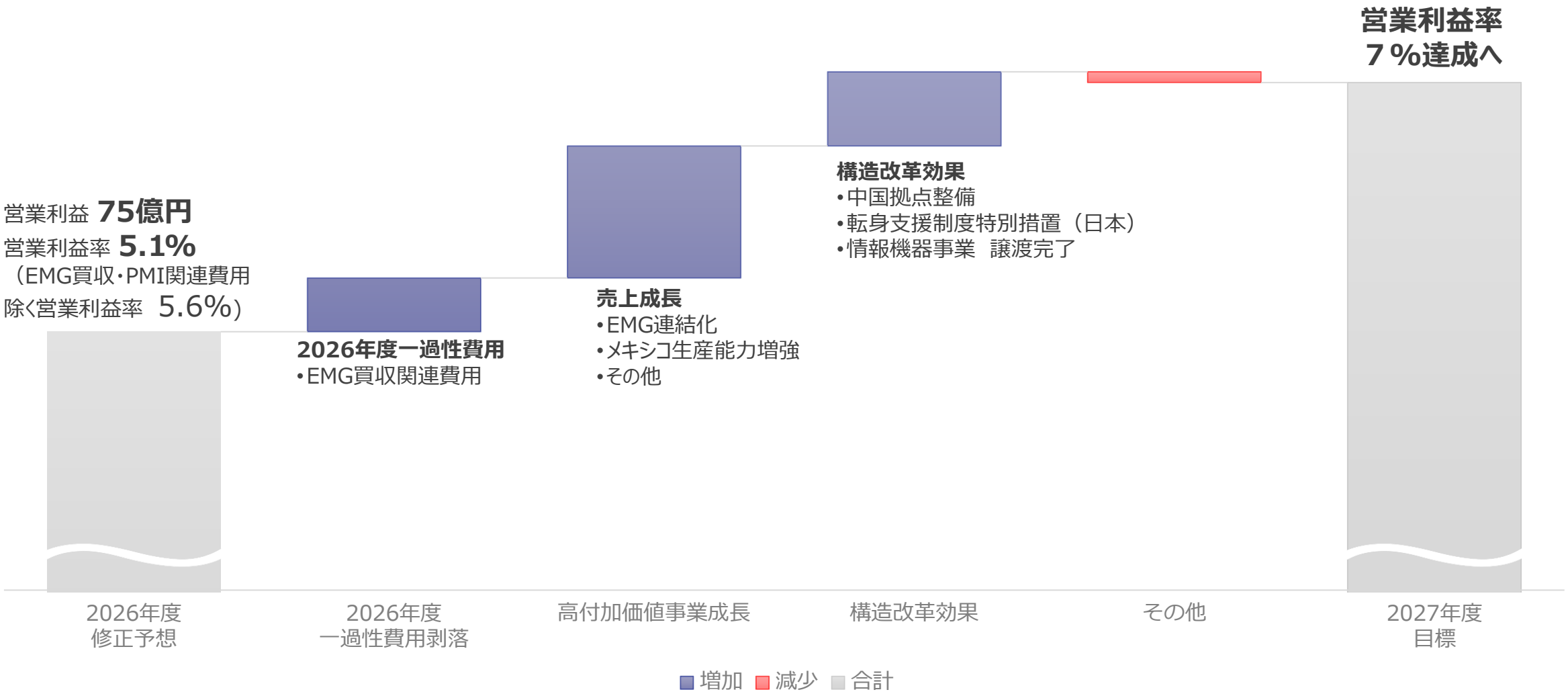
ROE

≧8%

© TAMURA CORPORATION All Rights Reserved

第14次中期経営計画最終年度目標へのブリッジ

◆ 各種施策の成果により営業利益を積み上げ、中期経営計画最終年度目標の営業利益率7%を見据える



© TAMURA CORPORATION All Rights Reserved

第14次中期経営計画以降のタムラ（再掲）

◆ 第14次中期経営計画後は、2030年に向けて高収益な市場で圧倒的成長を実現

第14次中計完了時のタムラ

✓ **新事業ポートフォリオの完成**

- 資源の集中投下： 経営資源を欧米のクリーンエネルギー関連市場へ完全シフト
- 供給網の最適化： 欧米・アジア・メキシコを連動させたグローバル供給体制を確立

✓ **垂直統合による競争優位性の構築**

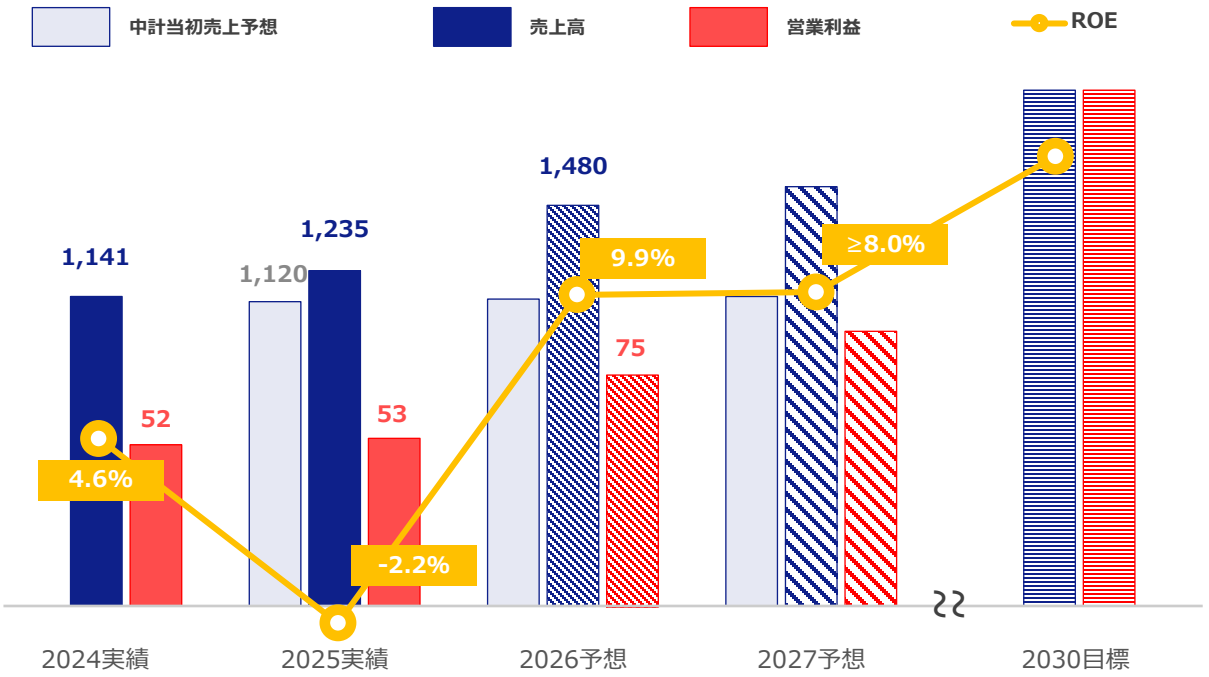
- 独自素材による差別化：自社技術を活かした唯一無二製品（オンリーワン製品）の実現
- 全体最適による競争力強化：迅速な意思決定による開発リードタイムの短縮
- 高付加価値領域の補完： 次世代パワー半導体向け磁性受動部品における圧倒的優位性の確保を目指す

✓ **高収益セグメントにおける製品供給体制**

- 電力インフラ・重工業： 大型・高周波トランス・リアクタ、大容量電流センサ
- 次世代通信・モビリティ： パワエレ関連化学材料、先端半導体材料、ゲートドライバ

タムラが2030年に目指す姿

営業利益率	ROIC	ROE
≥10%	≥8%	≥12%



© TAMURA CORPORATION All Rights Reserved

参考資料

© TAMURA CORPORATION All Rights Reserved

2027年3月期　第2四半期 貸借対照表・自己資本比率・CF

[億円]	26.3末	26.9末	増減額
現金・預金	190	**188**	▲2
売上債権	335	**379**	43
棚卸資産	258	**296**	38
有形固定資産	338	**341**	3
資産合計	**1,324**	**1,390**	66
仕入債務	170	**178**	8
有利子負債	385	**396**	11
純資産	629	**675**	46
負債・純資産合計	**1,324**	**1,390**	66

	26.3末	26.9末	増減
自己資本比率（%）	47.4%	**48.4%**	1.0pt

キャッシュフロー

[億円]	25年上期	26年上期	増減額
営業CF	24.1	**▲9.4**	▲33.5
投資CF	▲20.1	**20.7**	40.8
財務CF	▲18.5	**▲16.3**	2.2
フリーCF	4.0	**11.3**	7.3
キャッシュの残高	171.2	**179.1**	7.9

© TAMURA CORPORATION All Rights Reserved

事業部門別　電子部品関連事業 第2四半期（累計）実績

（億円）	2026.3期 2Q実績	2027.3期 2Q実績	構成比	増減率	主な変動要因など （＋）改善要因、（－）悪化要因	2027.3期 通期予想
製品別 売上高	392	455	100.0%	15.9%		930
大型トランス・リアクタ	96	135	29.7%	40.8%	（＋）米国AIデータセンター向けを中心に売上が拡大	271
トランス	42	50	11.1%	20.5%	（＋）産業機械向け回復、航空宇宙・防衛向け堅調	105
コイル・リアクタ	114	121	26.6%	6.4%	（＋）産業機械向け回復、空調向けが安定推移	249
ACアダプタ・チャージャ	62	60	13.3%	▲ 3.4%		128
EMS	9	10	2.3%	8.7%		20
モジュール	38	48	10.6%	25.7%	（＋）エネルギー向け電流センサの売上拡大	99
その他	31	30	6.5%	▲ 3.6%		58
市場別 売上高	392	455	100.0%	15.9%		930
産業機械	76	102	22.5%	35.4%	（＋）トランス、コイル・リアクタ：産業機械向け、航空宇宙・防衛向け堅調	205
エネルギー	120	159	35.0%	32.7%	（＋）米国AIデータセンター向けを中心に大型トランス・リアクタが好調	320
交通・車両	40	39	8.5%	▲ 3.7%		85
家電・住宅	134	134	29.5%	0.3%	（－）電動工具向けチャージャ、空調向けトランスが安定的に推移	275
情報通信・AV他	23	20	4.4%	▲ 10.4%		44

© TAMURA CORPORATION All Rights Reserved

事業部門別　電子化学実装関連事業 第2四半期(累計) 実績

(億円)	2026.3期 2Q実績	2027.3期 2Q実績	構成比	増減率	主な変動要因など （＋）改善要因、（－）悪化要因	2027.3期 通期予想
製品別 売上高	181	253	100.0%	39.5%		546
ソルダーペースト関連	115	175	69.1%	51.2%	（＋）車載用途が安定的に推移 （＋）AIサーバーや通信インフラ関連の需要が増加 *錫・銀など、金属価格の売価反映影響あり	379
ソルダーレジスト関連	35	40	15.7%	13.1%	（＋）スマートフォン向けフレキシブル基板用途に加え、AIサーバー向けも堅調	85
フラックス他	15	19	7.5%	30.9%		36
実装装置	18	22	8.5%	22.2%	（＋）国内外顧客における設備投資の緩やかな回復	46

© TAMURA CORPORATION All Rights Reserved

事業部門別　情報機器関連事業 第2四半期(累計) 実績

放送業界全般における厳しい設備投資環境の継続により減収・減益

（億円）	2026.3期 2Q実績	2027.3期 2Q実績	2027.3期 増減率	2027.3期 通期予想(注)
売上高	8.6	4.0	▲ 53.9%	4.0
営業利益	▲ 4.0	▲ 4.3	赤拡	▲5.0
営業利益率	▲46.7%	▲107.2%	▲60.5pt	▲125.0%

*2026年10月1日付で事業譲渡を完了

© TAMURA CORPORATION All Rights Reserved

2027年3月期 設備投資・減価償却費・研究開発投資予想

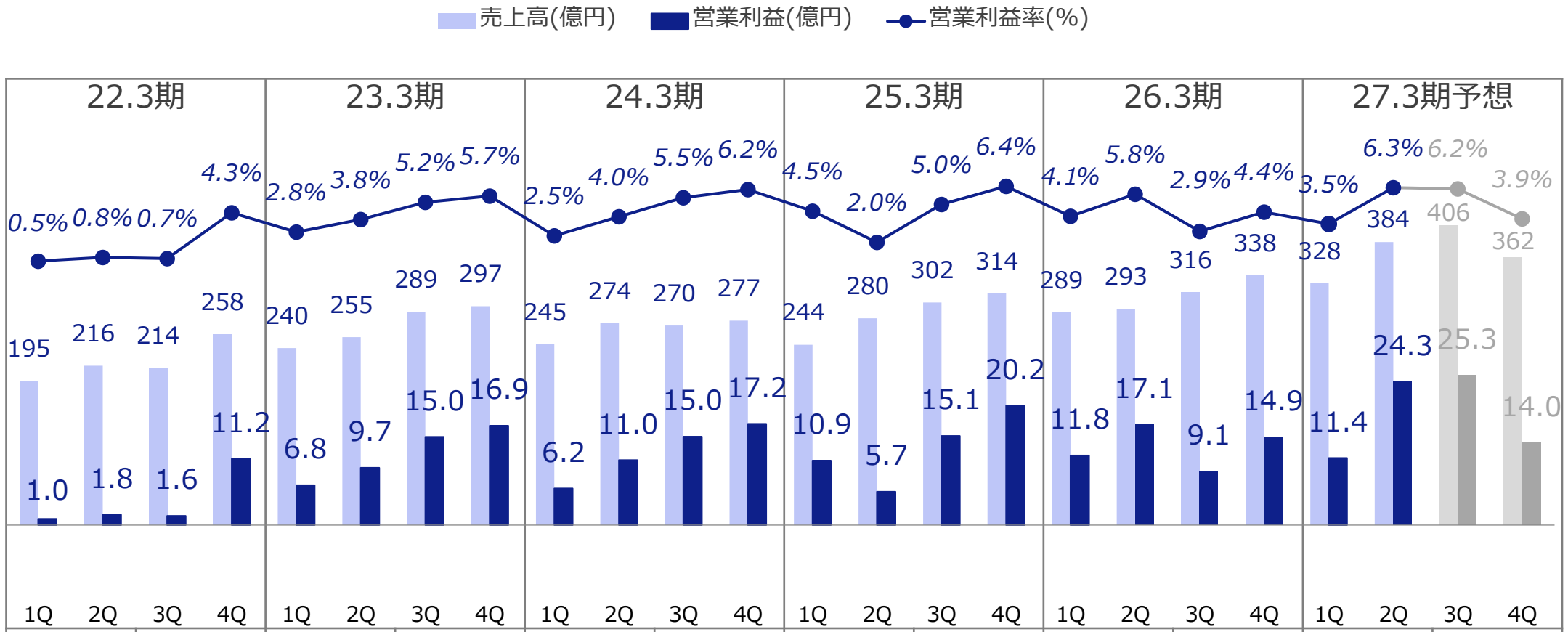
- ◆ 設備投資は、国内外工場の生産能力増強により増加
- ◆ 研究開発では、引き続き次世代パワー半導体向けの要素技術や製品の開発に注力

(億円)	2026.3期	2027.3期			2027.3期	
	実績	11月修正予想	増減	増減率(%)	期初予想	上期実績
設備投資	67.1	68.4	1.4	2.0%	43.4	39.5
減価償却費 ※リース含む	44	52.7	8.7	19.8%	52.9	23.8
研究開発関連費用	36.4	36.1	▲ 0.3	▲ 0.7%	37.4	19.4
(売上比率)	(2.9%)	(2.4%)			(2.9%)	(2.7%)

注:　「研究開発関連費用」は、研究開発テーマに関わる経費・労務費・設備投資などを、当社の基準で集計している値です。

© TAMURA CORPORATION All Rights Reserved

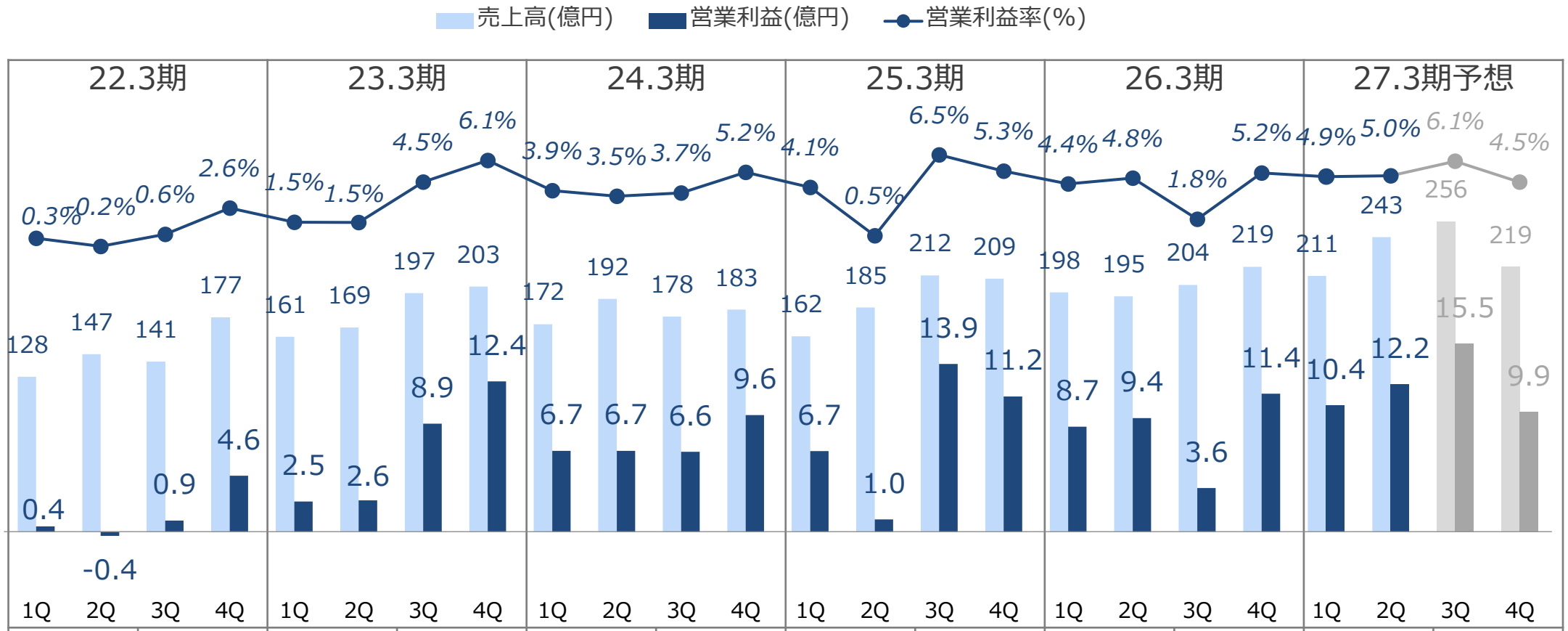
全社: 売上高・損益の四半期推移



[億円]	22.3期 上期	22.3期 下期	23.3期 上期	23.3期 下期	24.3期 上期	24.3期 下期	25.3期 上期	25.3期 下期	26.3期 上期	26.3期 下期	27.3期予想 上期	27.3期予想 下期
売上高	411	472	494	585	519	548	525	616	582	654	711	769
営業利益	2.8	12.8	16.5	31.8	17.2	32.2	16.6	35.4	28.8	24.0	35.7	39.3
営業利益率	0.7%	2.7%	3.3%	5.4%	3.3%	5.9%	3.2%	5.7%	5.0%	3.7%	5.0%	5.1%
為替 期中平均	111.16		134.39		143.08		152.50		149.56		上期実績 160.02	
(米ドル/円) 期末	122.39		133.53		151.41		149.52		159.88		155	

© TAMURA CORPORATION All Rights Reserved

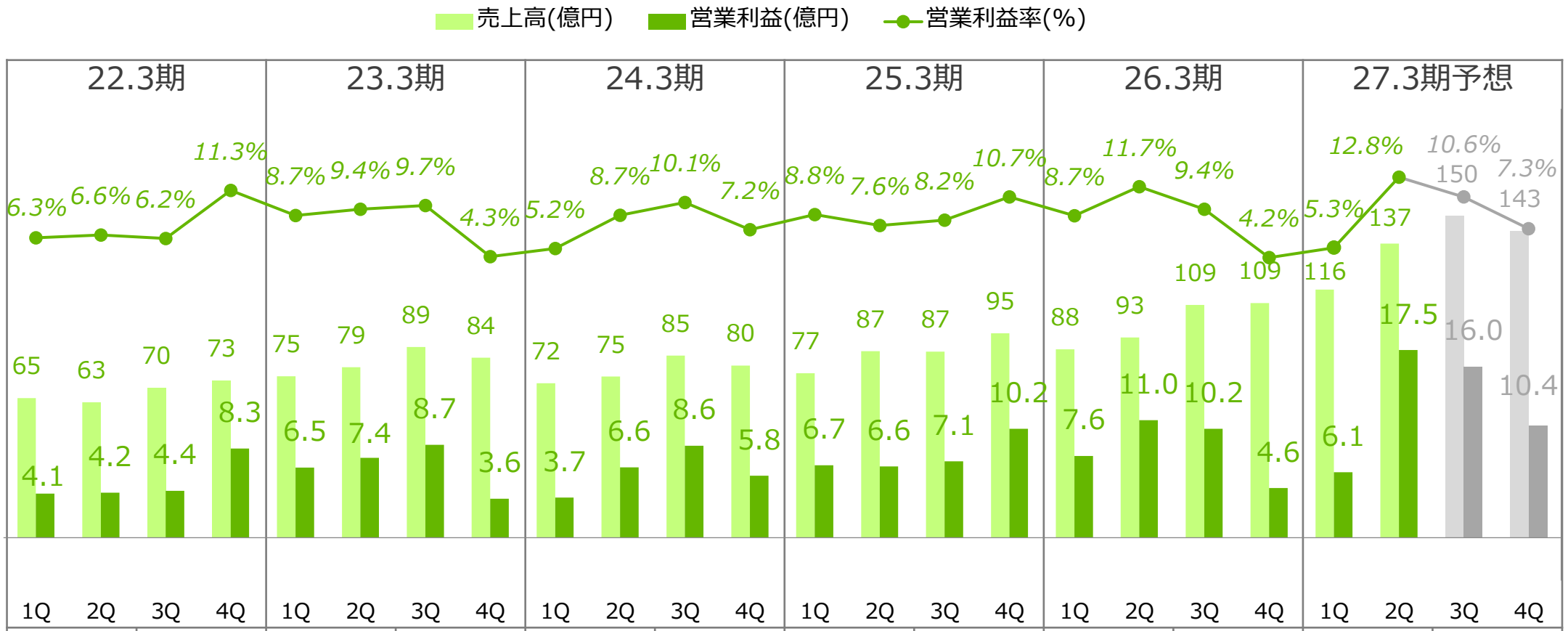
電子部品: 売上高・損益の四半期推移



[億円]	22.3期 上期	22.3期 下期	23.3期 上期	23.3期 下期	24.3期 上期	24.3期 下期	25.3期 上期	25.3期 下期	26.3期 上期	26.3期 下期	27.3期予想 上期	27.3期予想 下期
売上高	275	318	330	400	364	361	347	421	392	423	455	475
営業利益	0.1	5.5	5.1	21.3	13.4	16.2	7.7	25.0	18.1	15.0	22.6	25.4
営業利益率	0.0%	1.7%	1.5%	5.3%	3.7%	4.5%	2.2%	5.9%	4.6%	3.5%	5.0%	5.4%

© TAMURA CORPORATION All Rights Reserved

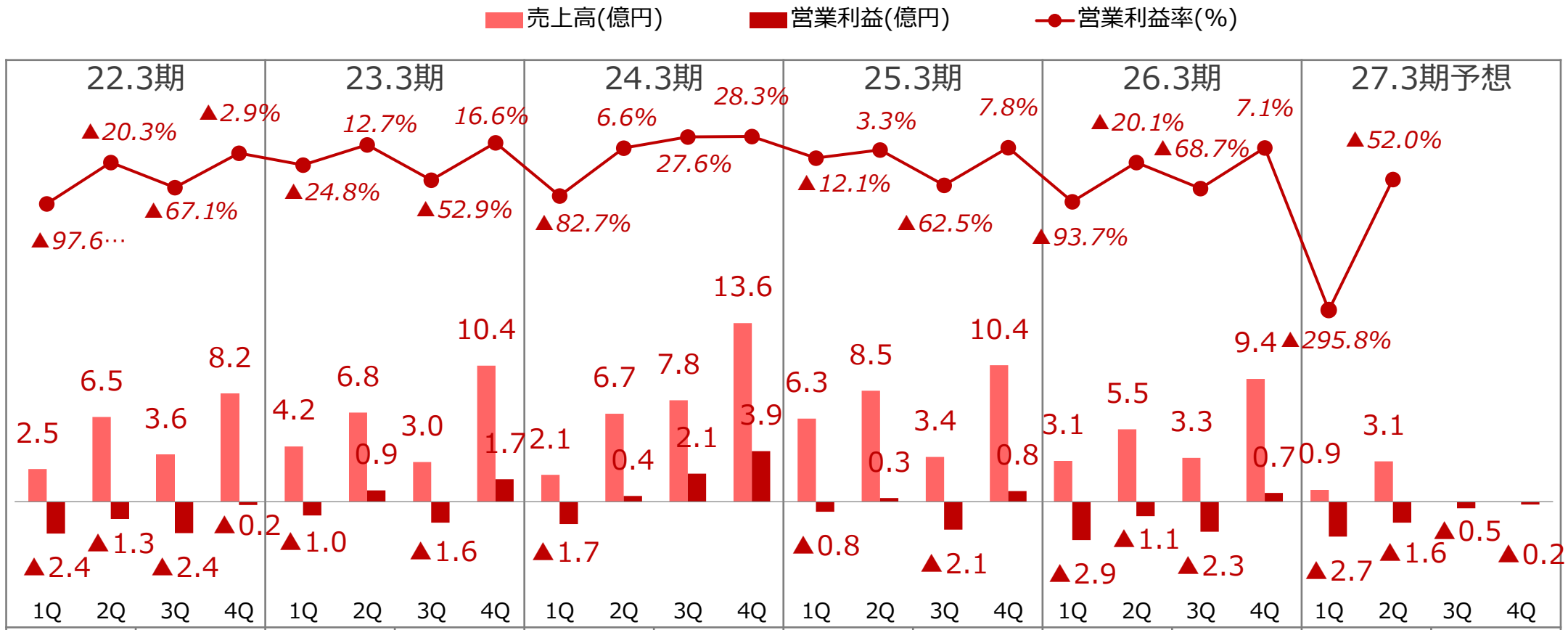
電子化学実装: 売上高・損益の四半期推移



[億円]	上期	下期	上期	下期	上期	下期	上期	下期	上期	下期	上期	下期
売上高	128	143	155	173	147	165	164	182	181	218	253	293
営業利益	8.3	12.7	14.0	12.3	10.3	14.3	13.4	17.3	18.6	14.8	23.6	26.4
営業利益率	6.5%	8.9%	9.0%	7.1%	7.0%	8.7%	8.2%	9.5%	10.2%	6.8%	9.3%	9.0%

© TAMURA CORPORATION All Rights Reserved

情報機器: 売上高・損益の四半期推移



[億円]	22.3期 上期	22.3期 下期	23.3期 上期	23.3期 下期	24.3期 上期	24.3期 下期	25.3期 上期	25.3期 下期	26.3期 上期	26.3期 下期	27.3期予想 上期	27.3期予想 下期*
売上高	9.0	11.8	11.0	13.4	8.8	21.4	14.8	13.8	8.6	12.7	4.0	―
営業利益	▲3.7	▲2.6	▲0.2	0.1	▲1.3	6.0	▲0.5	▲1.3	▲4.0	▲1.6	▲4.3	▲0.7
営業利益率	▲41.8%	▲22.4%	▲1.6%	0.8%	▲14.3%	28.1%	▲3.3%	▲9.6%	▲46.7%	▲12.8%	▲107.2%	―

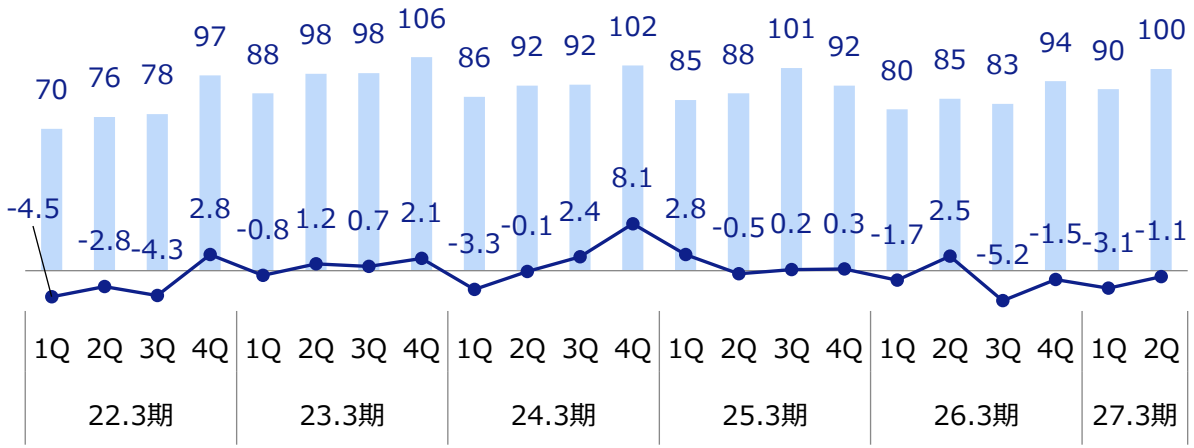
※ 2026年10月1日に事業譲渡完了
下期に、上期分の費用の一部発生見込む

© TAMURA CORPORATION All Rights Reserved

地域別: 売上高・損益の四半期推移

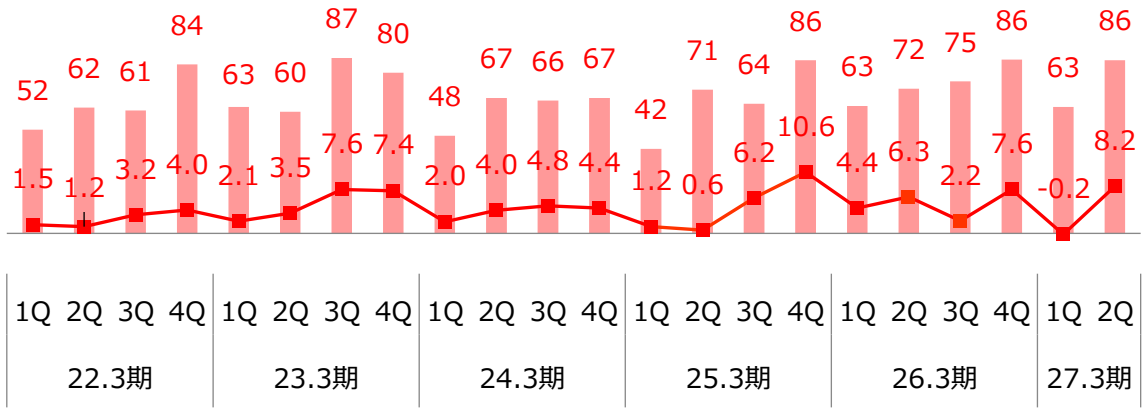
売上高(億円)　営業利益(億円)

日本

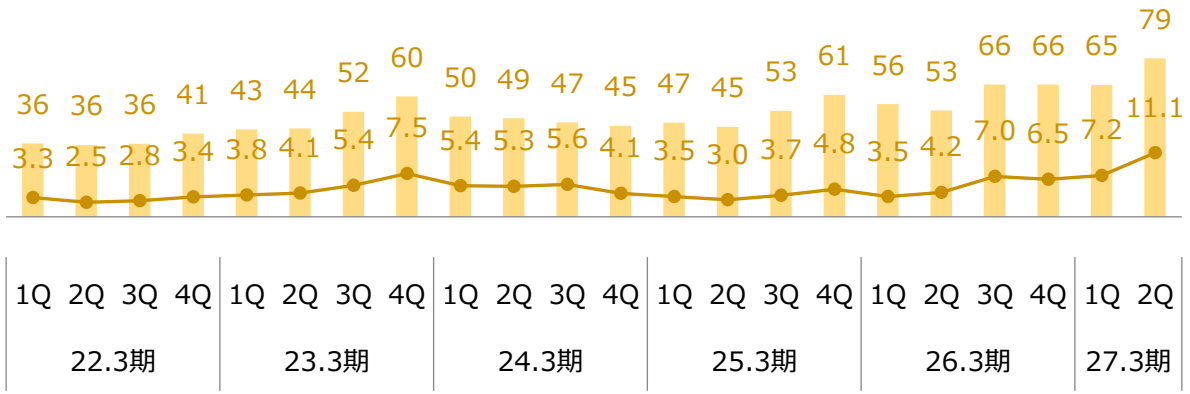


注: 日本に連結消去等を含めて表示しています

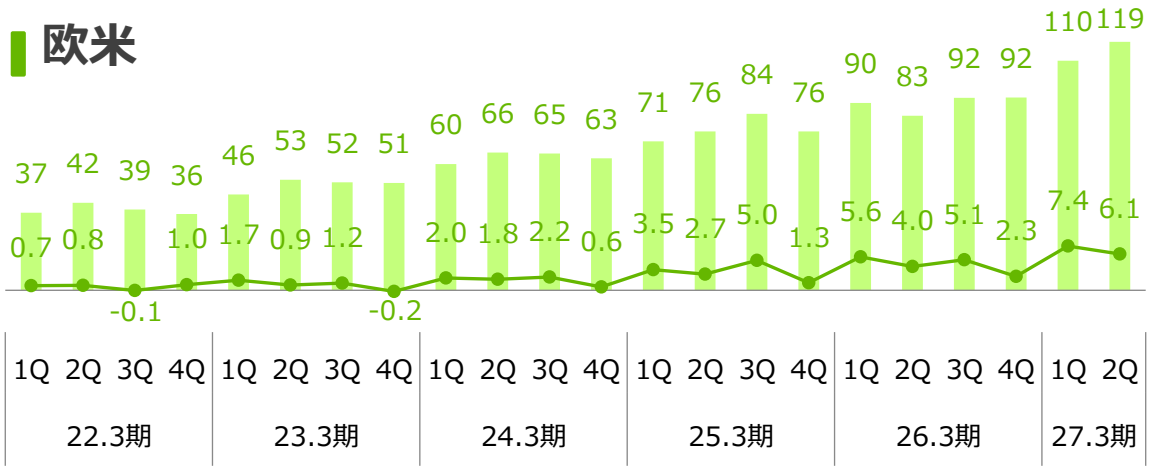
中国



その他アジア

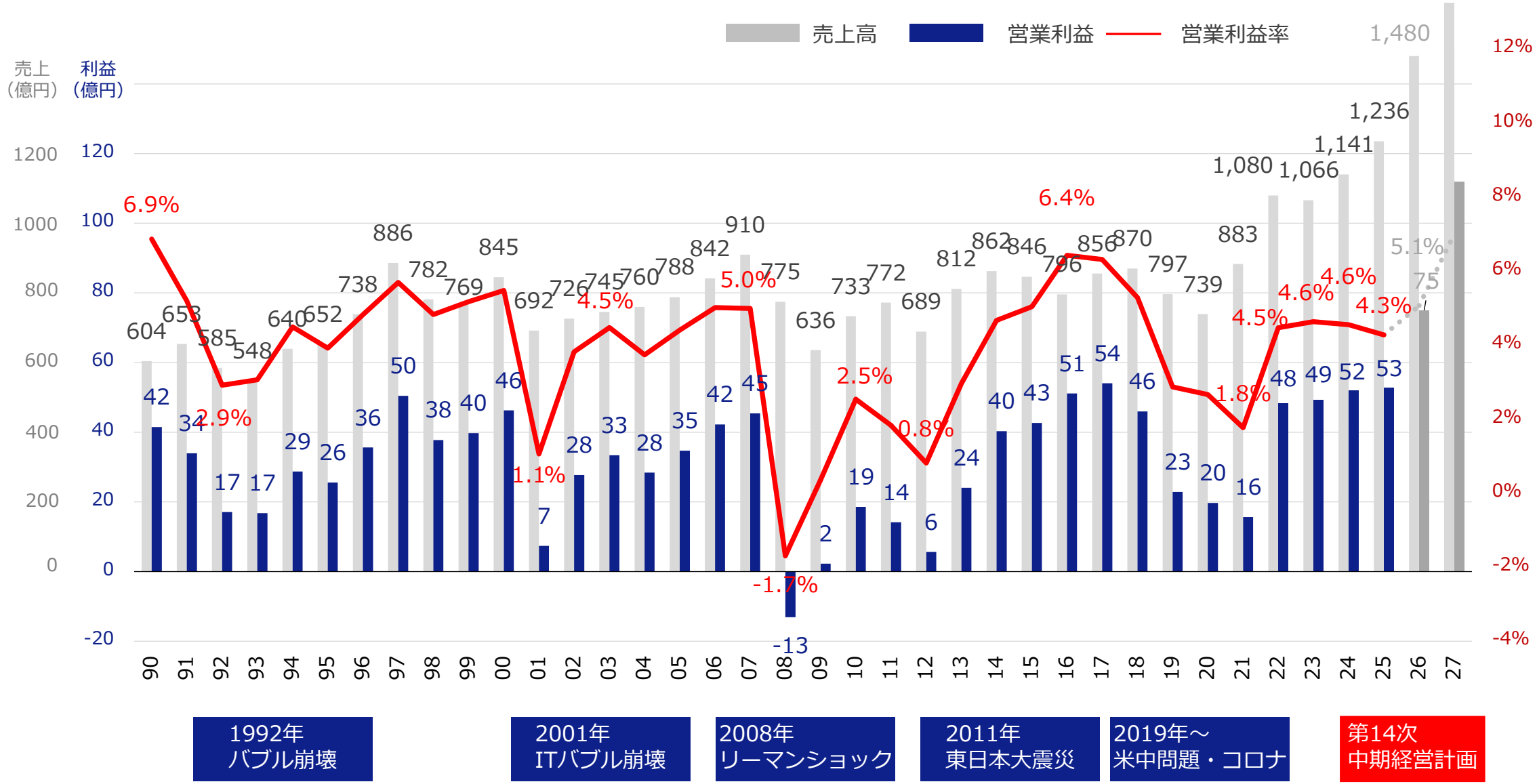


欧米



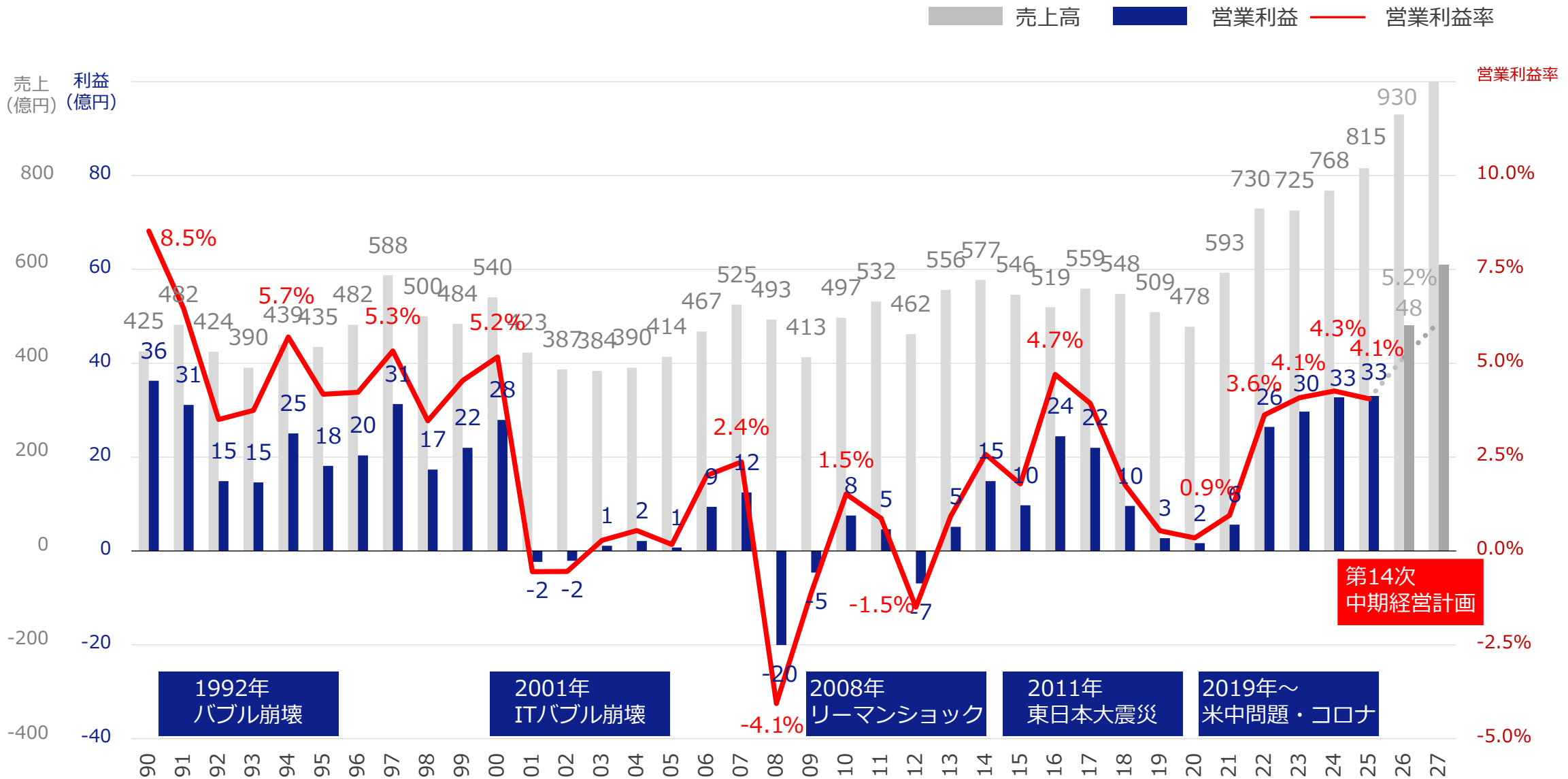
© TAMURA CORPORATION All Rights Reserved

全社: 売上高・営業利益の推移



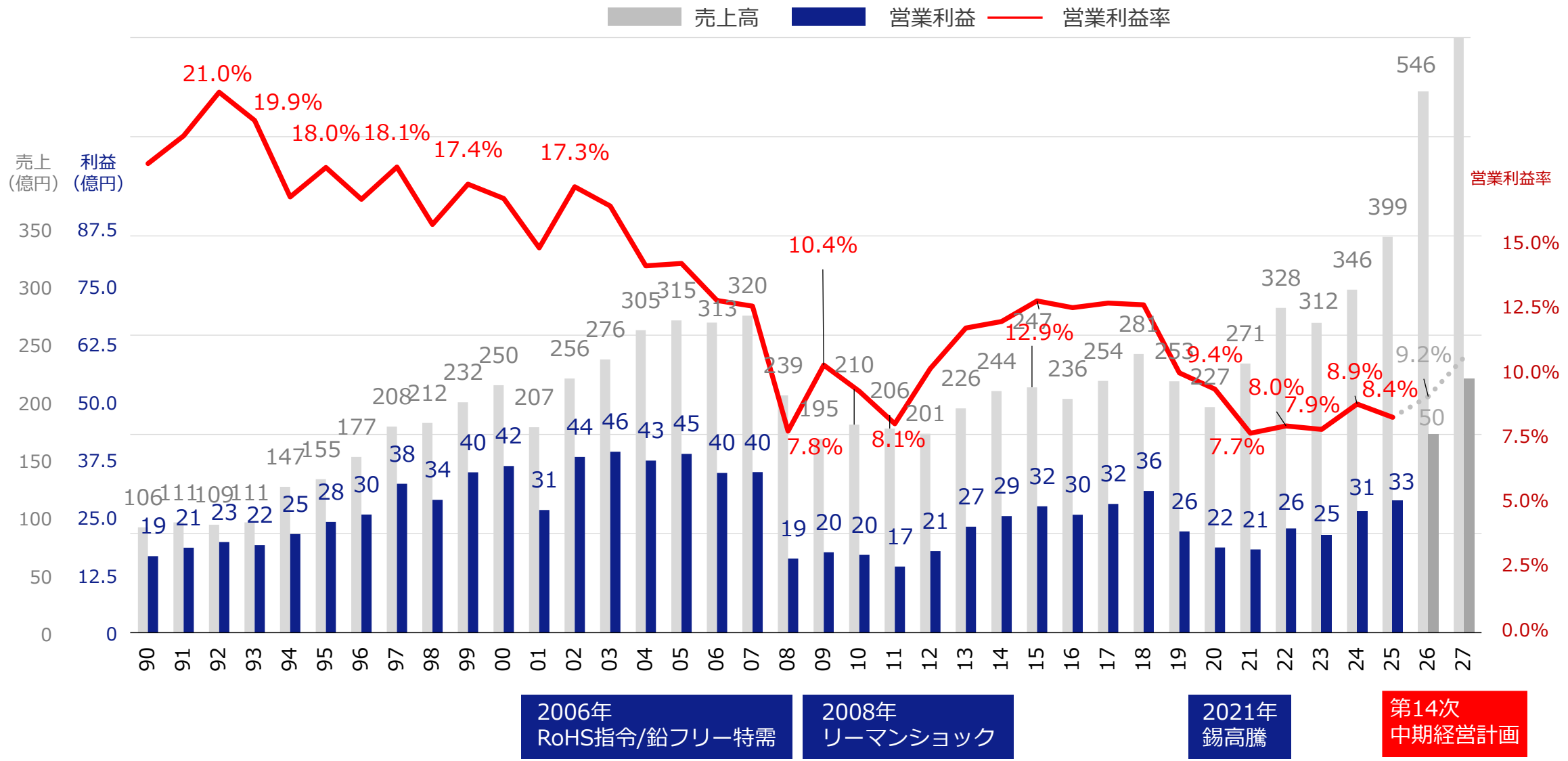
© TAMURA CORPORATION All Rights Reserved

電子部品: 売上高・営業利益の推移



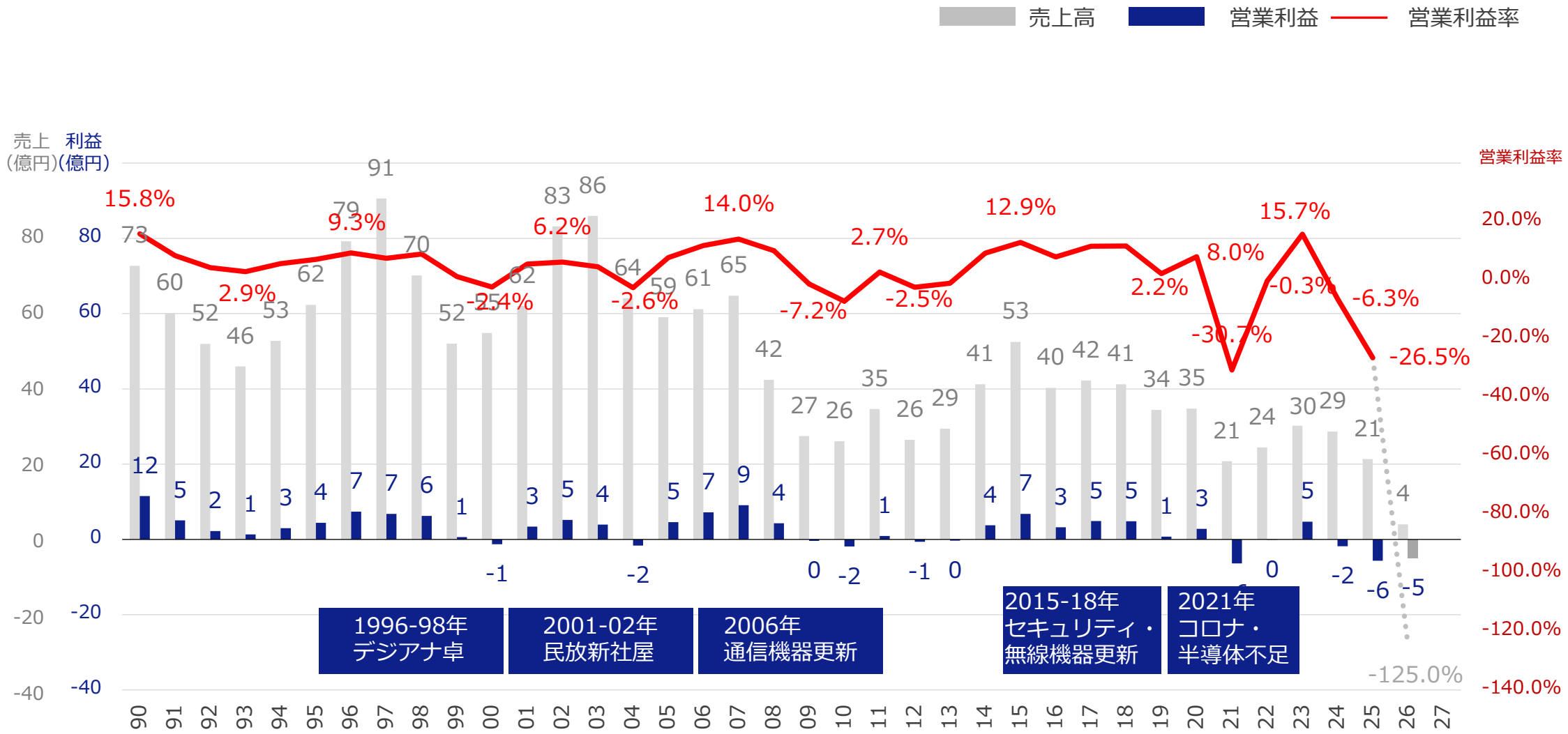
© TAMURA CORPORATION All Rights Reserved

電子化学実装: 売上高・営業利益の推移



© TAMURA CORPORATION All Rights Reserved

情報機器: 売上高・営業利益の推移

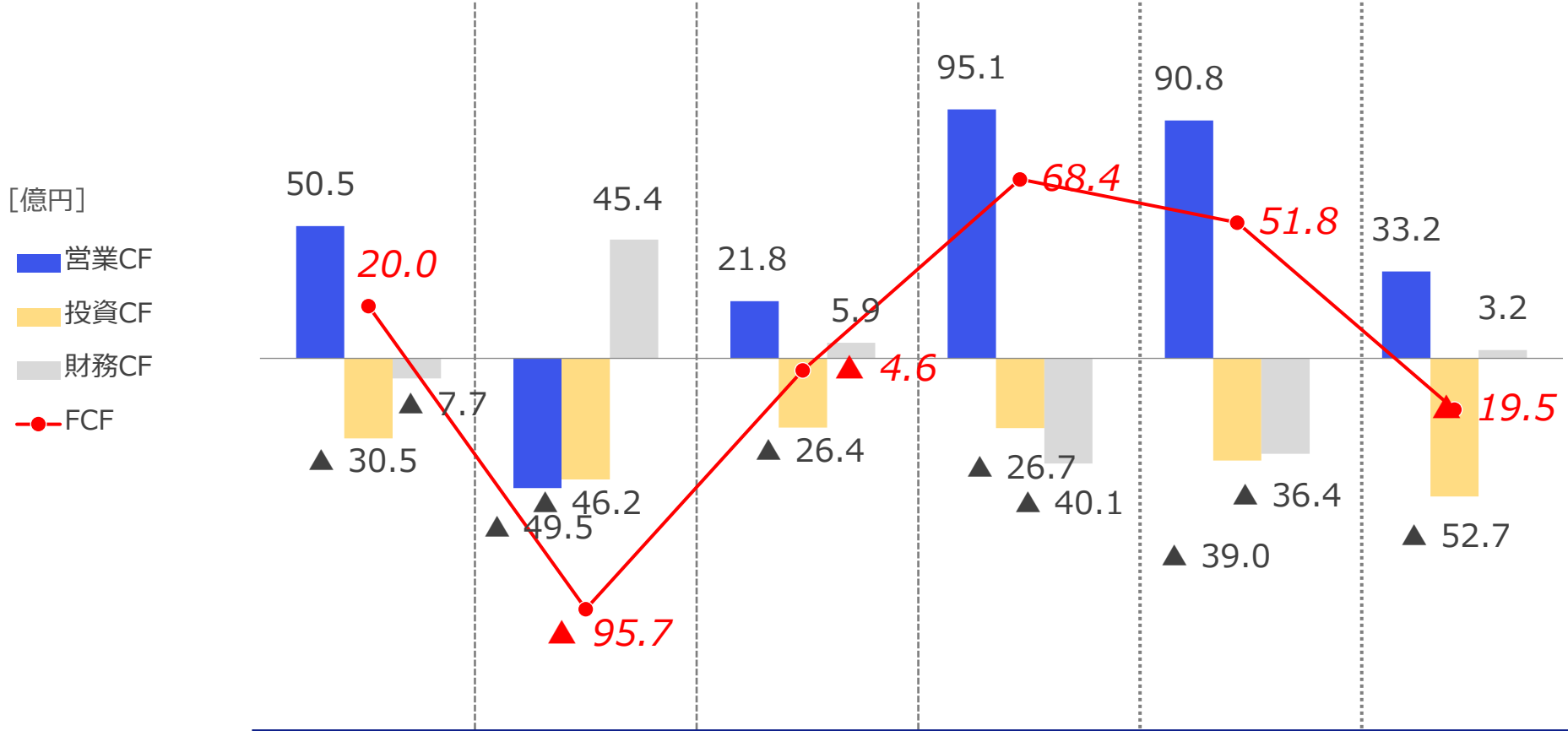


第14次 中期経営計画

*2026年10月1日付で事業譲渡を完了

© TAMURA CORPORATION All Rights Reserved

キャッシュ・フロー

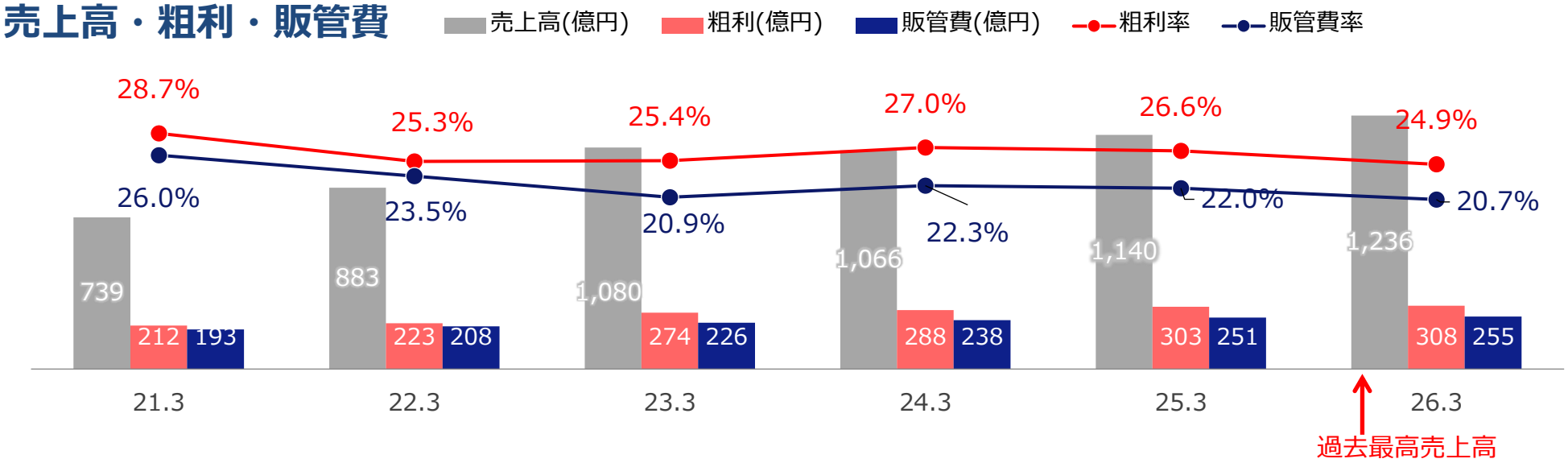


	21.3末	22.3末	23.3末	24.3末	25.3末	26.3末
キャッシュの増減	10.7	▲43.0	7.3	33.7	24.9	▲13.8
キャッシュの残高	171.9	128.9	136.2	169.9	194.8	181.0

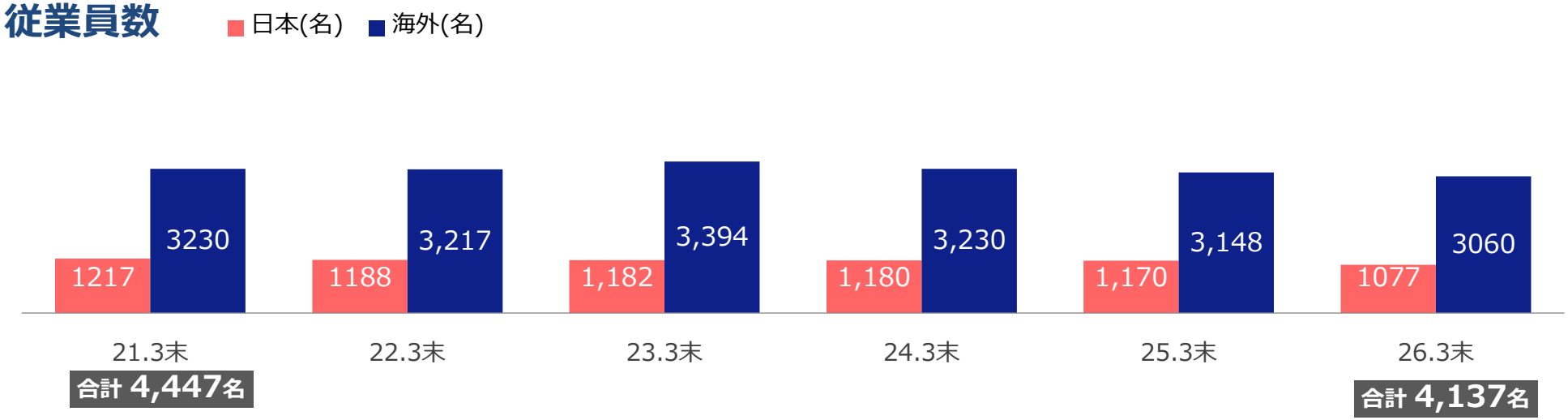
© TAMURA CORPORATION All Rights Reserved

売上高・粗利・販管費・従業員数の推移

売上高・粗利・販管費



従業員数



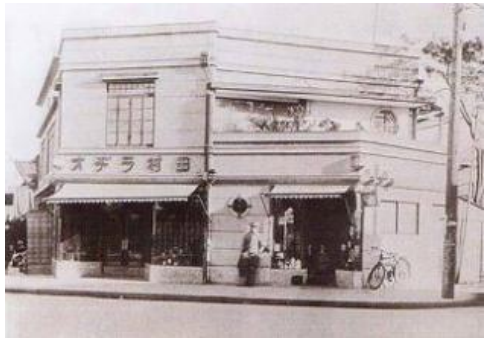
© TAMURA CORPORATION All Rights Reserved

タムラの歩み

タムラ製作所は1924年5月11日に創業、2024年に100周年を迎えました。

創業当時のラジオおよび電子部品の製作・販売から始まり、現在は「電子部品」「電子化学実装」の事業分野で、
様々な市場のニーズに応える製品・サービスを提供しています。

1924年創業　田村ラヂオ商会







ラジオ、電気蓄音機の製作・販売

トランスの自作化

トランスの追求

電子部品



接合技術の追求

電子化学実装



音声・通信技術の追求

情報機器

情報機器事業は、
2026年10月1日付で事業を譲渡しました

© TAMURA CORPORATION All Rights Reserved

社会・産業・暮らしを支える

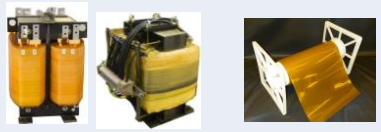
社会・産業・暮らしを支えるタムラグループの製品

タムラの製品は「材料」「部品」「装置」として、自動車や電子機器など身近な製品から製造現場の装置や再生可能エネルギー分野、さらには宇宙まで、さまざまな産業や社会インフラを支えています。

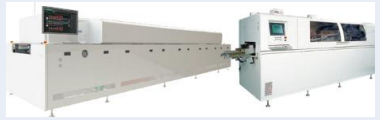
風力・太陽光発電



データセンター

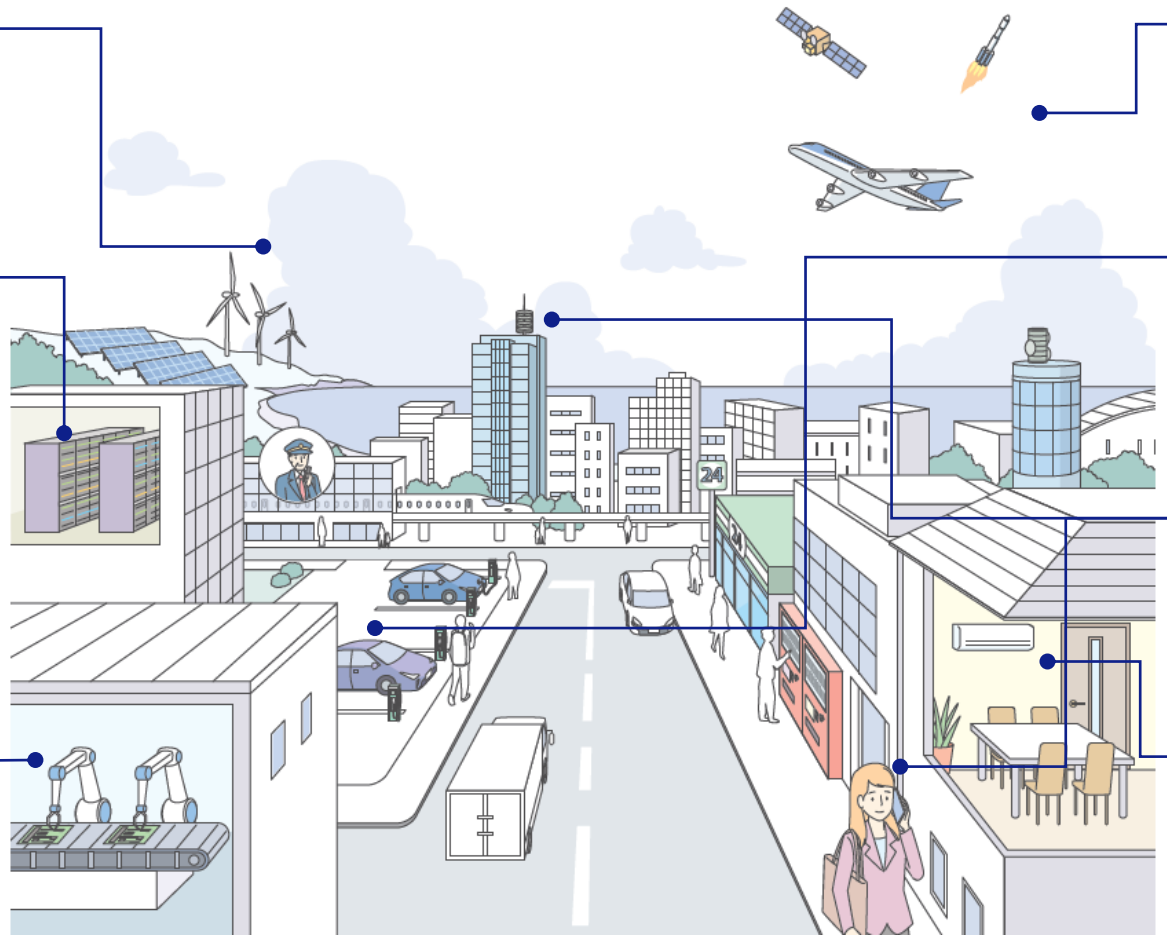


工場



産業機械

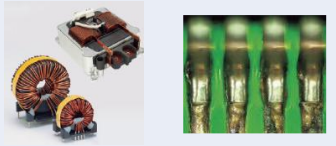




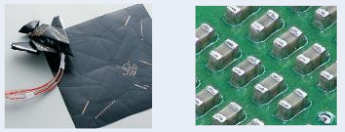
航空・宇宙



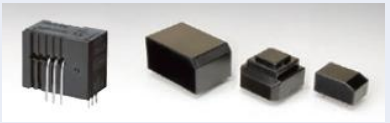
自動車



通信基地局
スマートフォン・タブレット



エアコン・パワコン



© TAMURA CORPORATION All Rights Reserved

事業領域

製品情報

事業別売上高

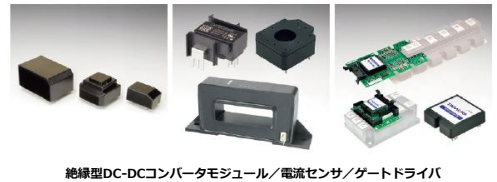


電子部品

売上高　：815億円
営業利益　：33.0億円
営業利益率：4.1%

主要製品
トランス
リアクタ
コイル
大型トランス／リアクタ
バッテリーチャージャ
絶縁型DC-DCコンバータモジュール
ゲートドライバ
電流センサ など


トランス／コイル・リアクタ／大型リアクタ

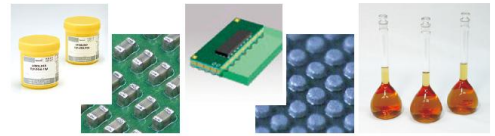

絶縁型DC-DCコンバータモジュール／電流センサ／ゲートドライバ

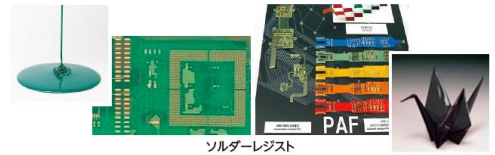


電子化学実装

売上高　：399億円
営業利益　：33.3億円
営業利益率：8.4%

主要製品
ソルダーペースト
フラックス
ソルダーレジスト
実装装置 など


ソルダーペースト／フラックス



ソルダーレジスト


実装装置

情報機器

売上高　：21.4億円
営業利益　：▲5.7億円
営業利益率：▲26.5%

情報機器事業は、2026年10月1日付で事業を譲渡しました

（2026年3月期）

© TAMURA CORPORATION All Rights Reserved

グローバルマーケット

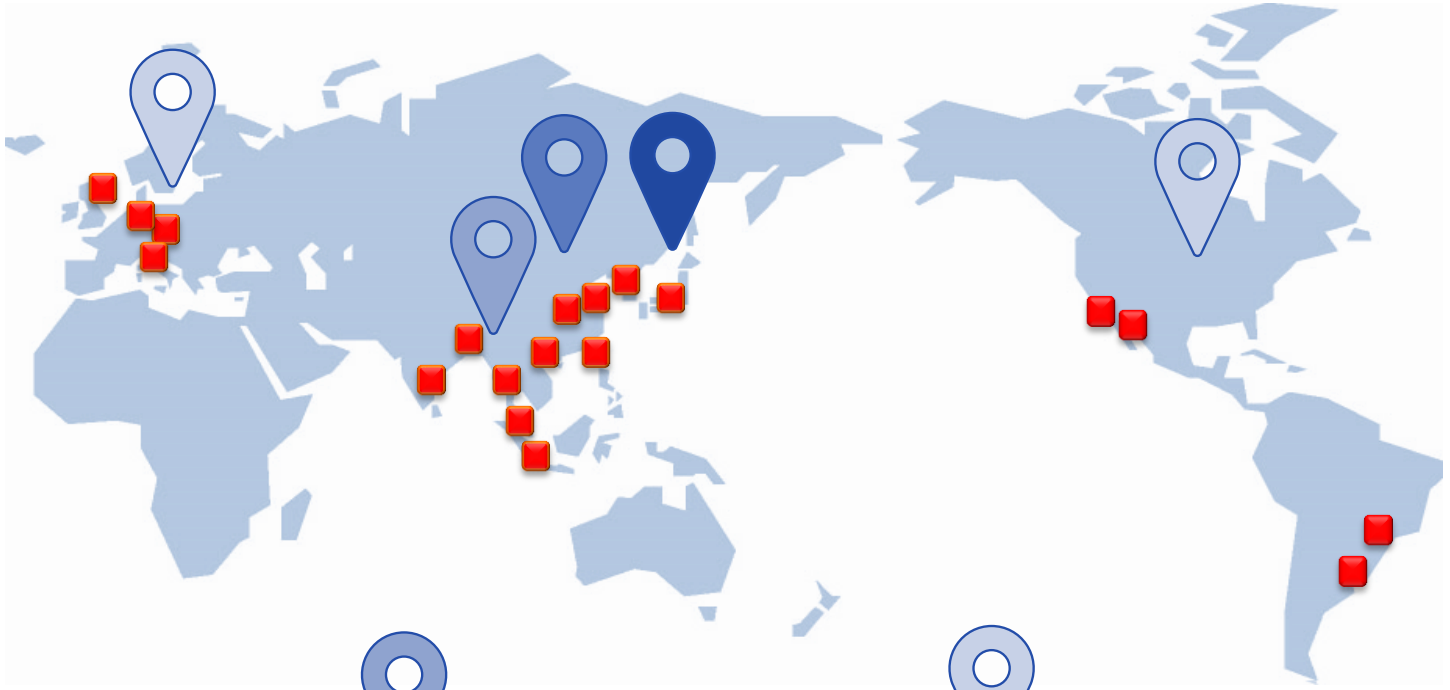
事業拠点一覧

地域別売上高



地域別従業員数





日本
・売上高　：342億円
・従業員数：1,077名
・製造拠点：5拠点

中国
・売上高　：297億円
・従業員数：1,586名
・製造拠点：8拠点

その他アジア
・売上高　：240億円
・従業員数：839名
・製造拠点：5拠点

欧米
・売上高　：357億円
・従業員数：635名
・製造拠点：3拠点

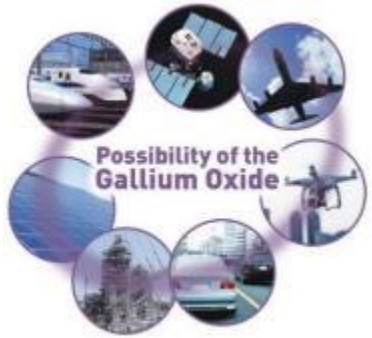
（2026年3月期および2026年3月31日現在）

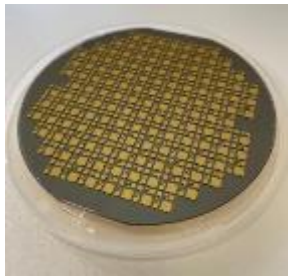
© TAMURA CORPORATION All Rights Reserved

カーボンニュートラルへの貢献 ～酸化ガリウムパワー半導体の研究開発

- タムラ製作所の研究開発部門が独立して設立された株式会社ノベルクリスタルテクノロジー（NCT）は、カーボンニュートラルへの貢献が期待される酸化ガリウムパワー半導体の研究開発を推進しています
- タムラは、NCTと接合材料や電源機器などの共同開発を進め、中長期的視点で共に成長を目指しています

酸化ガリウムパワー半導体 研究開発





タムラとNCTの取り組み

TAMURA
- 特許技術供与
- 技術支援・販売支援
- 周辺製品・材料のコラボレーション

×

Novel Crystal Technology, Inc.
- 酸化ガリウム基板およびパワーデバイスの製品化・製造販売

- 酸化ガリウム： SiCやGaNを越える高性能とコスト競争力が期待されているパワー半導体
- 研究開発チーム：NCT、タムラ製作所、情報通信研究機構、東京農工大学を中心とするチームで世界をリード
- NCT：タムラ製作所の持分法非適用関連会社（出資比率は約40%）。外部資本を積極的に取り込み、独立した経営陣でスピーディーな開発と事業化推進を行うため2015年に設立

NCTのホームページはこちら　https://www.novelcrystal.co.jp/

[NCTからの発表（抜粋）]
- ●2023年12月　世界初、垂直ブリッジマン法による6インチβ型酸化ガリウム単結晶の作製に成功
- ●2025年3月　酸化ガリウムトランジスタの世界最高性能を更新
- ●2025年9月　防衛装備庁「令和７年度安全保障技術研究推進制度」に採択
- ●2025年12月　貴金属の使用量を大幅に削減した結晶育成法の開発に成功
- ●2026年2月　第47回応用物理学会論文賞において応用物理学会解説論文賞を受賞
- ●2026年2月　次世代パワー半導体向け150mm酸化ガリウム基板サンプル出荷開始
- ●2026年7月　次世代パワー半導体酸化ガリウムの欠陥三次元イメージング技術開発

© TAMURA CORPORATION All Rights Reserved

事業拠点

事業拠点／グループ会社



タムラ・ヨーロッパ・リミテッド
チェコ支店



タムラタイランド株式会社



オプシード・バングラデシュ・
リミテッド



タムラ化学韓国株式会社





タムラ電子（メキシコ）株式会社



田村電子（恵州）有限公司



田村電子（蘇州） 有限公司



上海祥楽田村電化工業
有限公司

© TAMURA CORPORATION All Rights Reserved

当社からのお願い

本資料の業績予想、見通し及び事業計画については、
現時点における将来環境予測等の仮定に基づいております。
本資料において当社の将来の業績を保証するものではありません。

株式会社タムラ製作所
経営企画本部

© TAMURA CORPORATION All Rights Reserved